

深川市議会報告会

令和8年6月3日(水)午後6時～
経済センター 3階 多目的ホール

本日の次第

●開 会

司会進行 議会報告会実行委員長 有働 正夫

●あいさつ

深川市議会議長 近沢 弘幸

第1部 18:10 ▶ 19:00

●各委員会の活動報告

1. 総務経済常任委員会

水道料金の見直しについて

2. 厚生文教常任委員会

北新小学校の統合について

3. 予算審査特別委員会

令和8年度当初予算について

4. 議会改革特別委員会

議会基本条例とペーパーレスの推進について

第2部 19:00 ▶ 19:55

●意見を聴く会

少人数のグループ形式で、皆さんが日頃感じている、まちへの関心や困り事などを聴かせていただき、今後の議会活動に生かしてまいります

テーマ「深川の暮らしてもっとよくしたいこと」

●閉会あいさつ

議会報告会実行委員会 副実行委員長 山本 時雄

水道料金の見直しについて

令和8年4月から水道料金を改定

水道事業は地方公営企業（市の運営する企業組織）であり、事業の運営に係る経費は水道料金収入で賄われており、必要なときに水を使えるよう水道施設の管理を行われなければなりません。しかし、人口減少と節水意識の向上により水の使用量が減少し水道料金収入は減り続けており、物価高騰による維持管理費等の上昇、水道管などの老朽化が進む施設の更新など費用は年々増加しております。

本市の水道事業は、29年間にわたり消費税の増税以外での料金値上げを実施していないことや、北空知広域水道企業団（1市・4町で運営、所在地沼田町）から購入している水の費用が令和8年4月分より大幅に増加するため、現在の水道料金では事業に係る経費を賄うことが非常に困難な状況となっていました。

このような理由から、令和7年第4回定例会において、深川市水道事業給水条例の一部を改正する条例についての議案が提出され、総務経済常任委員会での審査の結果、将来まで水道水を安定して届けるため、条例改正による料金改定は必要であると判断し、賛成多数で可決しました。

見直しに伴う影響は？

- ①用途区分の見直し【家事用、団体用、営業用、工業用 → 家事用、家事用以外】
- ②メーター使用料を基本料金に含める形で、口径別に基本料金を再設定
- ③「家事用」「家事用以外」の超過料金を同じ料金に統一

▶ これら見直しとともに、水道水の安定供給のため水道料金を値上げ
なお低所得世帯への減免は継続して実施しています

見直しによる増加額の例（家事用 口径13mmの場合）

使用水量	改定前料金	改定後料金	増加額
基本水量（8m³）	2,046円	2,750円	+704円
10m³使用	2,596円	3,432円	+836円
20m³使用	5,436円	6,842円	+1,406円

※使用水量やメーター口径によって増加額は異なります

市議会で議論したポイント

①水道料金を据え置いた場合の影響

・老朽化した水道管の更新が滞り、破損の増加原因に

▶ 水の安定供給に支障を来す恐れ

・将来の大幅な値上げにつながる恐れ

▶ 将来世代に大きな負担を負わせてしまう

②水道事業の安定的な運営のための取組

・滞納整理の強化による収入確保や工事コスト削減の工夫など

▶ 財政基盤を強化

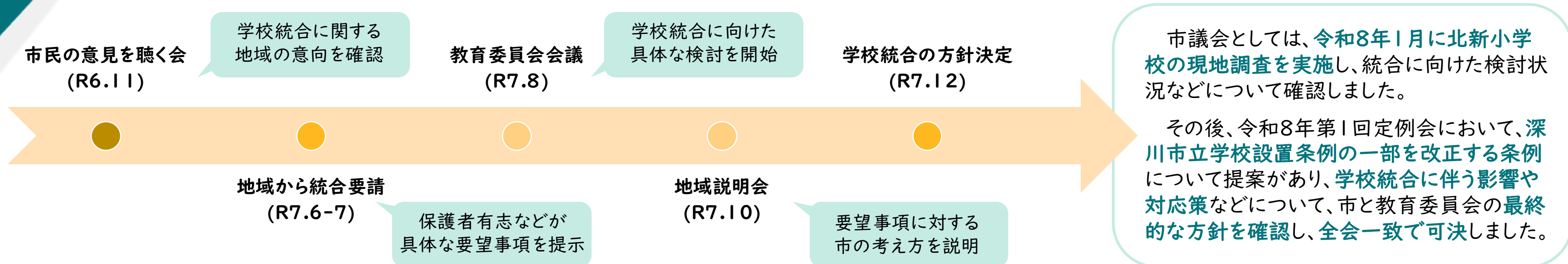
・スマートメーターの導入を検討

▶ 検針の効率化・利用者サービスの向上を図る

北新小学校の統合について

令和9年4月1日から北新小学校が一已小学校に統合

第1部 委員会報告② 厚生文教常任委員会



学校統合に伴う影響は？

1. 通学距離や時間の変化
安全な通学手段の確保
スクールバスは運行されるの？

2. 教育環境の変化
児童への精神的な負担が心配...

3. 放課後学童保育の継続
学童保育「あけぼの児童クラブ」は継続されるの？

4. 閉校後の施設の維持管理
閉校後の跡地はどうなるの？

市議会で議論したポイント

1. スクールバスの運行
全小中学生を乗車可能とする考えを確認

2. 児童への配慮
統合前の交流学習の実施や学校統合後に北新小教員を一已小へ配置することを検討中

3. 学童保育の継続と移動手段
「あけぼの児童クラブ」の継続と学校からの移動手段にスクールバスを活用する考えを確認

4. 跡地利用と避難所指定
適切な維持管理を行い避難所指定も含め跡地の利用方法を今後検討していくことを確認

令和8年度当初予算について

令和8年第1回定例会において、各会計予算について、全会一致または賛成多数で可決しました。

第1部 委員会報告③ 予算審査特別委員会

全会計の予算総額 354億5,498万円は過去最大規模

会計別	令和8年度予算額 A	令和7年度予算額 B	増減額 C(A-B)	増減率(C/B)
一般会計	201億6,000万円	196億3,000万円	5億3,000万円	2.7
介護保険特別会計	24億6,560万円	24億2,800万円	3,760万円	1.5
国民健康保険特別会計	27億7,600万円	29億3,200万円	△1億5,600万円	△5.3
後期高齢者医療特別会計	5億2,600万円	4億6,900万円	5,700万円	12.2
水道事業会計	9億4,660万円	8億2,410万円	1億2,250万円	14.9
下水道事業会計	15億9,020万円	16億4,980万円	△5,960万円	△3.6
病院事業会計	69億9,020万円	58億8,581万円	11億 477万円	18.8
合計	354億5,498万円	338億1,871万円	16億3,627万円	4.8

予算が増額となった要因は？

主な要因は・・・

- ▶ 深川市まちなか交流施設の開設費（建設工事は令和7年4月に着工）
- ▶ 国の重点支援地方交付金（約1.9億円）を活用した事業費の増加
- ▶ 職員給与費及び会計年度任用職員費の増加
- ▶ 水道料金改定による収入増加を見込み、配水管改修工事を実施
- ▶ 市立病院における電子カルテシステムを更新



ピックアップ事業

複合施設整備事業

「まなぶ・ふれあう・つながる」まちの交流拠点
深川市まちなか交流施設「ふかふか」
令和8年11月オープン予定



※公共交通の乗り入れは令和9年10月以降に開始予定

11億3,585万円

【主な事業内容と経費】

- ・施設建設、外構工事等 10億1,830万円
- ・備品購入、システム導入等 9,421万円
- ・光熱水費、委託業務等 2,154万円
- ・シェアカフェ運営費等 180万円

【財源内訳】

- ・国の負担額 3億4,190万円
- ・市の負担額 7億9,395万円

議会基本条例とペーパーレスの推進について

第1部 委員会報告④ 議会改革特別委員会

市議会は、市民の皆さんの声を市政に反映させる重要な役割を担っています。

一方で議会が「分かりにくい」「何を決めているのか見えにくい」という声もありました。

そこで、「開かれた議会」「分かりやすい議会」を目指し、議会改革特別委員会を設置して、これまでもさまざまな取り組みを行ってきました。

議会改革は、継続して取り組んでいくことが重要と考え、今期においても令和5年12月に委員会を設置して、これまでの議論を継承するとともに、新たな検討項目も加えながら調査を行い、「議会基本条例」と「ペーパーレス」の取り組みを進めました。

これまでの取り組み

- ・議会報告会や意見交換会の開催
- ・本会議の様子をインターネット（YouTube）で配信開始
- ・議員定数や常任委員会の見直し など

議会基本条例の制定に向けて

1. 議会基本条例って何？

- ▶ 市民の代表として、どのような姿勢で活動していくのか
- ▶ どうやって市民の声を市政に届けていくのか
- ▶ 市議会としてどのような責任を果たしていくのか

など、基本的な姿勢や議会が守るべきルールを定めています

2. 条例内容の一部を紹介

◎市民への情報公開や説明責任

会議や議事録の公開、議会報告会での議会の活動報告など、市民の皆さんに分かりやすく情報を届けます

◎市長との健全な緊張関係の保持

二元代表制の下、緊張感のある関係を保ちながら議会のチェック機能を果たします

ペーパーレス化 (タブレット端末導入)を実施

／ 令和7年12月からタブレット端末の試験運用(紙と併用)を開始 ／

Q 導入のメリットは？

A 紙資源の節約(環境負荷の低減)・
情報伝達の迅速化に大きく貢献

このほか「資料の視認性」「利便性」
「業務効率」などが向上します

Q 導入費用は？

A 令和7年度は約199万円

《内訳》端末等購入 154万円
会議システム費用 45万円

▶ 以降年間40万円の維持費

導入から半年で紙5万枚以上の削減

≡ 約50万円(1枚10円換算)の印刷経費削減

印刷にかかる人件費や郵送料などの削減にも
つながり、十分な費用対効果が見込まれます



第2部 意見を聴く会

テーマ：深川の暮らしてもっとよくしたいこと

(例えば、移動手段、公共交通、病院、公共施設、除雪、防災など)

最近困っていること
はありませんか？

困り事が改善される
としたら、どんな状
態が理想ですか？

行政や地域にできる
ことはありますか？

MEMO